

## 救急車の適正な利用についてのお願い

千葉市内の救急出動件数は年々増え続けていて、昨年（2018年）は過去最多の58,370件となりました。このままのペースでは、2035年には71,000件となり、救急車の到着は現在より2.3分遅くなり、約12分以上かかる見込みです。限りある医療資源である救急車を適正に利用していただき、一人でも多くの命を救うために、以下の点に御理解と御協力をお願いします。

- ・急変時の対応について主治医等に相談しておくことや、具合が悪い時は病状が悪化する前に救急車以外の手段で受診するなどの対応をお願いします。
- ・協力医療機関等と緊急時の受入れ体制について取り決めをしておくことで、救急搬送がよりスムーズになります。
- ・救急車を要請した際、迅速・的確に救急隊員への情報伝達が行えるように事前に患者さんの情報を整理しておいてください。

参考として、介護事業者等における「緊急時連絡票」を作成しましたので活用してみてください。（千葉市消防局のホームページから、ダウンロードできます。

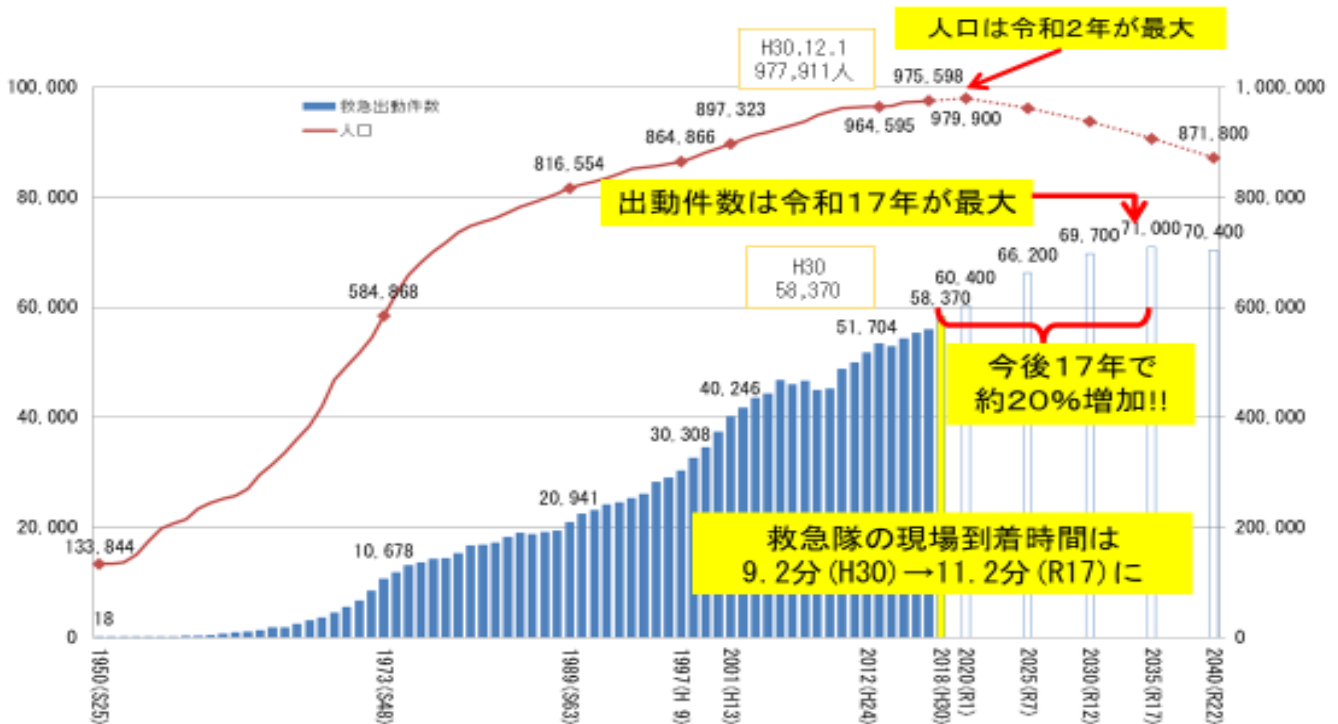
URL <http://city.chiba.jp/shobo/keibo/kyukyu/documents/renrakuhyo.xls>

・「救急車を要請するか」「自分たちで医療機関を受診するか」で迷ったときには「千葉県救急安心電話相談」の活用もおすすめです。

電話番号：#7009（IP・光など一部電話からは03-6735-8305）

開設時間：平日・土 18～23時、日・祝・年末年始・GW 9～23時

## 将来の人口と救急出動件数の予測値



※ 件数は、平成29年までが確定値、30年が速報値、32年以降は予測値（\*）とした。  
※ 人口は、統計課の各年末時点での「推計人口」及び政策企画課における「人口の将来見通し」（平成27年度）から引用した。  
\* 予測値は平成28年4月現在で、消防庁救急企画室の計算方法を採用して、以下の方法で算出した。  
平成25～29年の5年間における年齢別搬送人員及び推計人口から、各年齢における割合を計算、これに将来の人口における、各年齢に対して積算した上で1人を1件とし、さらに8年間における搬送人員に対する搬送件数の割合（15.15%）から計算したものを搬送件数とみなして、これらの総和を予測値とした。